

「飛鳥 “ 歴史の響き ” フェスティバル」が開催される

5月15日～5月16日、で春のシンボルイベント「飛鳥 歴史の響き フェスティバル」が国営飛鳥歴史公園（高市郡明日香村）石舞台地区で開催された。

1974年に祝戸地区に開園した同公園は、今年で30周年を迎え、今回の催しはこれを記念して開かれているイベント「飛鳥歴史の祭典2004」の一環。

15日は、「古代の響きコンサート」と銘打ち、「飛鳥太鼓」「やまと獅子太鼓」「まほろば太鼓団 魁会」「和太鼓倭 星組」が演奏、ダイナミックな響きと躍動感に満ちあふれていた。

16日は、「悠久の飛鳥」歴史コンサートが開催され、ウー・ファンさんが中国古箏を演奏、叙情美あふれる雰囲気にも包まれた。また、浜村淳さんと奈良大学教授の上野誠さんによる歴史トークが行なわれ、

「今いるこの地は、飛鳥時代には蘇我氏の邸宅、その後草壁皇子の東宮があった場所。世が世であれば、一般の人は立ち入れない場所。大化の改新は、蘇我氏を滅ぼし、天皇中心の政治をすることを目的とした。これを契機に律令国家の建設が始まった」などと話された。（上田）



飛鳥歴史の響きフェスティバルの舞台

